

令和9年度 福島大学政経学部総合型選抜（Ⅰ型・Ⅱ型共通）

課題図書と問題

【課題図書】

宇都宮浄人・柴山多佳児『持続可能な交通まちづくり—欧州の実践に学ぶ』ちくま新書, 2024年

【問題】

課題図書を参考に、持続可能な社会実現に向けて、公共交通が果たす役割の限界を考えます。なお、論拠となる関連文献・資料については図書館やインターネットであなたが探してください。また、参考文献リストを作成して関連文献・資料を記載してください。

- (1) 課題図書では、持続可能な社会を実現するために「モビリティの選択肢を増やす」必要性が述べられています。福島県内をはじめとする地方都市において、モビリティの選択肢を増やすことの難しさについて論じなさい。
- (2) 上記(1)に基づき、本書に事例がある「宇都宮市」を例に（LRTに限らず、まちづくり全体の視点から）、自家用車に過度に頼らない交通まちづくりのビジョンと戦略を論じなさい。

【注意事項】

- 各自で課題図書を用意してください。なお、第2次選抜では、課題図書を冊子版で持参してもらいます。第2次選抜での電子書籍の持ち込みは認めません。
- 上述の問題に答えたものを「課題図書に基づくレポート」に原則として文章でまとめてください。見出しや補助的な箇条書き、図表の使用は差し支えありませんが、レポート全体を箇条書き又は図表のみで構成してはいけません。図表を用いる場合は、その内容及び意図を本文中で説明してください。
- この課題では、(1)課題図書の内容を理解できているか、(2)主要な論点や関係する立場を整理できているか、(3)自分なりの見立てや対応案を示せているか、(4)理由や根拠を適切に示せているか、について評価します。
- 参考文献リストについては、レポートの末尾に記載をするか、別紙（様式自由）で作成してください。
- 「課題図書に基づくレポート」の要点を「レポートの要点（グループディスカッション用）」にまとめてください。箇条書きや簡単な図表、矢印、記号等は使用してよいこととします。
- 「課題図書に基づくレポート」と「レポートの要点（グループディスカッション用）」を一緒に提出してください。
- 第2次選抜における「グループディスカッション」では、あなたが書いた「レポートの要点（グループディスカッション用）」を口頭説明用資料とします。口頭説明用資料は受験番号がわからない形で、同じグループ内の他の受験生に配布し、グループディスカッション後に回収します。

課題図書に基づくレポート

レポートの要点 (グループディスカッション用)

【記入上の注意】

- ・ パソコン等による作成を推奨します。ボールペンまたは万年筆を用いた作成も可とします。
- ・ 枠の大きさを変えてはいけません。